

# チャレンジの 指針

成功は失敗を越えた先にある。  
だからこそ恐れるな。  
夢に向かって頑張る姿は、  
いつの時代も美しい。

「これまで、自分はこれをやった」と自信を持って言えるような経験がなかったんです。決して人を引く張るタイプではなかった松浦麻衣さんが代表に手を挙げたのは、心のどこかで自分を変えたいと思っていたから。

松浦さんが代表を務めるのは、学生の立場でまちづくり活動を行う学生団体「福井大学EMP実行委員会」。代表になってからは、苦勞の連続だったという。まずは資金確保のために、県の「ふくい夢チャレンジプラン」コンテストに応募。企画書の作成からプレゼンまで、すべてが初めての経験だった。どんな企画にするか、どうすれば人の心に届くのか。小川直希副代表をはじめ、一緒に頑張ってくれる

メンバーと夜遅くまで語り合った。「徹夜続きでしたけど、今思えば自分を成長させてくれたいい機会だったと思います」。

プロジェクトのコンセプトは「身近なまちの魅力を見出し、その魅力を自らの言葉にして語る福井人に育てること」。今回は、福井の将来を担う子どもたちを対象とし、7月には順化小学校の子どもたちとともに駅前周辺・県庁周辺・浜町の3コースに分かれ、まち歩きを行い、その魅力を紹介した。次の企画は10月。今度はこの子どもたちがガイド役になり、参加者に駅周辺の魅力を伝える。「まちづくりは人づくり」。その言葉どおり、14名のメンバーと一緒に松浦さんの成長も続く。

挑戦が人を成長させる。  
まちづくりで新たな自分づくり。

福井大学EMP実行委員会 代表

まつ うら ま い  
松浦麻衣

福井市出身。福井大学教育地域科学部地域科学課程3年生。「福井大学EMP実行委員会」のEMPは「Enjoy Mytown Project」の頭文字。「歩きたくなる駅前」をコンセプトに、まちあるきツアーを行ったり、フリーペーパーを作成している



手書きにこだわったEMPの活動を報告するフリーペーパー。福井駅前の店舗や公民館、福井大学などに設置



7月のワークショップでは、地元「おんちゃん」にガイドを依頼。住む人ならではの街の魅力を子どもに伝えた



## チャレンジするって 素晴らしい!

ホームページ・facebookページ  
「ふくい若者チャレンジクラブ」から  
イベント情報などを発信中!

### 仲間をみつけて新しいことにチャレンジ!

「ふくい若者チャレンジクラブ」メンバー募集中

あなたも「ふくい若者チャレンジクラブ」に登録して、メンバーと新しいことを始めてみませんか。子どもたちの自然体験や、街なかでの音楽ライブやアートイベントの開催など、いろんな分野で活動する若者やこれから新しく何かを始めたいと思っている若者の活動を応援します!

詳しくはこちら ▶ [福井県 若者チャレンジ](#)

事務局 福井県総務部男女参画・県民活動課 若者チャレンジ支援室 TEL:0776-20-0237  
youthchallenge@pref.fukui.lg.jp FBページ「ふくい若者チャレンジクラブ」